

主な内容

- 巻頭言——病院長就任のご挨拶
 - 速報——私立医科大学・医学部職員野球大会
で本学職員野球部が優勝しました
 - 特集——健康フェス2016
 - フリーページ——すこやかスポット医学講座No.69
「ストレス」と「うつ」について
- 表紙写真：盛岡さんさ踊り（2016.8.1 医用画像情報センター撮影）



病院長就任のご挨拶

病院長

杉山 徹

(産婦人科学講座 教授)



皆様方、平成 28 年 4 月 1 日から岩手医科大学附属病院長を拝命させていただきました産婦人科学講座主任の杉山 徹です。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

大学附属病院、特定機能病院は単なる大きな県立病院であってはならず、健全な経営と高い診療レベルに加え、歴史ある大学として社会貢献、研究、教育にも大きな軸足が必須です。社会貢献としては、相談支援センター、がんサロン活動、市民に向けた情報発信等を今後も継続し、特に「がん」を含めた学校教育に関しては、がんプロ（文部科学省補助事業）の中で行ってききましたが、今後は共通の基盤形成を医師会の先生方と進めていければと思います。

今年度は岩手医科大学附属病院の新築移転という世紀の大事業がいよいよ実施設計から着工（平成 29 年 2 月予定）の段階です。財源が厳しい中でも皆が夢を持って働ける環境の工夫に向けて、私自身も努力していきますので、どうぞよろしくご支援いただければ幸甚です。

変わりゆく医療情勢の中、重要なことは機能的な連携です。高度急性期機能を最大限に発揮するには、新病院に向けて手術件数のさらなる増加を図り、在院日数をさらに短縮し、同時に病床利用率を限りなく 100% に近づけることで、患者単価を上げ、連携病院と密な連携を図ることが大原則と考えます。特に矢巾新病院では開院と同時にこれが実行できねばなりませんので、その飛躍に向けて、私の任期中に人材育成と組織力の強化が求められると自覚しています。特

に新病院開院年度前までに臨床系教授（診療部長）が私も含めて 7 人が変わりますし、現在選考を進めている講座（診療科）が 3 つあります。繰り返しになりますが、特定機能病院の要件が厳格化される中、岩手医科大学附属病院のさらなる発展を目指した人材育成が非常に重要です。

病院やご開業の先生方のご紹介を 1 例でも多く受け、県立病院等と協調して all IWATE として地域に根付いた患者中心の医療が展開できることを目指します。人が一番の財産ですので、皆の心が 1 つになれば患者中心の医療の新展開ができます。時にはいやなことも辛いこともあるでしょうが、パッションを持ってそれを乗り越えねば夢は築けません。しっかりとしたバトンを次世代の先生に渡すことが私の役目です。

岩手医科大学の職員の皆様方のご支援、よろしくお願ひ申し上げます。



矢巾新病院外観イメージ



速報

第38回私立医科大学・医学部職員野球大会で 本学職員野球部が優勝しました



私立医科大学・医学部職員野球大会は、スポーツを通じた加盟大学の相互理解と親善による協力体制の強化及び健康増進と事務能率の向上を目的として開催されています。

大会は昭和54年を第1回目とし、今年で38回目の開催となります。このような歴史と伝統のある大会に今年も参加させていただき感謝申し上げます。そして、6年ぶり6回目の優勝となりましたので、ここにご報告いたします。

大会は埼玉県の大宮けんぼグラウンドを会場に7月27日、28日の2日間にわたり行われました。試合結果は下記のとおりですが、簡単に優勝という栄冠を手中にしたわけではありません。日常業務の中、限られたメンバーによるバスでの長距離移動に加え、大会前の相次ぐけがでの戦力ダウンに不安はありましたし、大会2回戦の日本大学医学部戦、準決勝の東京慈恵会医科大学戦は終盤までリードを許す厳しい展開からの逆転勝利でした。「優勝」は、チーム一丸となり最後まで諦めない姿勢が生んだ結果によるものであり、ここでは語り尽せない選手への感謝の気持ちでいっぱいです。大会の趣旨である大学相互間の親善理解を果たすとともに、岩手のねばり、勝負強さを発揮し、“岩手医科大学ここにあり”と全国に知らしめることができました。この結果に甘んじることなく、本学初の連覇に向け努力・精進してまいりたいと考えております。



胴上げは、大会最優秀選手の堀川選手

最後になりますが、関係各位のご理解とご支援に感謝申し上げます。ご声援誠にありがとうございました。

(文責 野球部監督：藤原友昭)

試合結果

一回戦

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 十 | 計 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 北里大学医学部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 |
| 岩手医科大学 | 1 | 3 | 0 | 0 | 3 | 3 | X | | | | 10 |

準決勝

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 十 | 計 |
|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京慈恵会医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 1 |
| 岩手医科大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | X | | | 2 |

二回戦

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 十 | 計 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 岩手医科大学 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | | | | | | 4 |
| 日本大学医学部 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | | | | | | 3 |

決勝

| | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 十 | 計 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 獨協医科大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | | | | 4 |
| 岩手医科大学 | 1 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | X | | | | 7 |

※時間切れにより5回で終了

出場メンバー

- 藤原 友昭 (学務部研究助成課)
- 佐々木 寛人 (企画部看護学部設置準備事務室)
- 吉田 博貴 (企画部企画調整課)
- 松田 俊彦 (企画部看護学部設置準備事務室)
- 門口 周平 (病院事務部医事課)
- 花坂 智人 (生命科学研究技術支援センター)
- 成田 和也 (中央臨床検査部)
- 千葉 大寛 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 田村 学 (病院事務部医事課)
- 米澤 元基 (企画部創立120周年記念事業事務室)
- 山形 周平 (企画部企画調整課)
- 堀川 琢磨 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 鈴木 雄大 (総務部人事職員課)
- 菅原 崇行 (学務部矢巾キャンパス教務課)



職員野球部では、選手を募集しています。
本学職員であれば、職種や野球経験を問いません。
入部をご希望の方は、人事職員課 (担当：鈴木、内線 3235) までご連絡下さい。

特集

健康フェス2016

～ 創立120周年に向けて～

2017年4月に迎える創立120周年の記念事業の一環として、「健康」をテーマに本学の有する「医の力」、「知の力」を積極的に発信し、県民の健康への関心を高めるとともに、地域とのつながりを深めることを目的とした一般市民参加型・体験型イベント「健康フェス」を昨年に引き続き開催することが決定しました。

本号では、いよいよ9月10日（土）に迫った「健康フェス2016」のイベント概要についてご紹介します。

基本情報

日 時 — 平成28年9月10日（土）午前9時30分～午後4時30分（雨天決行）

会 場 — 矢巾キャンパス（矢幅駅から無料シャトルバス運行）

対 象 — 一般市民（参加無料）

教職員の皆様もご家族をお誘い合わせの上、奮ってご参加下さい！

テーマ — ～いきいき 元気 健康家族～

後 援 — 岩手県、盛岡市、矢巾町、岩手県医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市医師会、盛岡市歯科医師会、紫波郡医師会、岩手医科大学医師会、岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、岩手県看護協会、岩手県栄養士会、岩手県調理師会、岩手県理学療法士会、岩手県臨床衛生検査技師会、岩手県診療放射線技師会、岩手県歯科衛生士会、岩手県歯科技工士会、岩手県医療機器販売業協会、(株)こずかたサービス、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

健康コーナー

公開講座 <東2C 講義室>

10:00～10:40 「ストレスとの上手なつきあい方」

人間科学科心理学・行動科学分野 助教 藤澤美穂

11:00～11:40 「歯科治療はこわくない、リラックス外来」

口腔顎顔面再建学講座歯科麻酔学分野 教授 佐藤健一

13:00～13:40 「健康にすすための科学」

神経科学講座 教授 駒野宏人

14:00～14:40 「これだけは知っておきたい認知症の話」

内科学講座神経内科・老年科分野 教授 寺山靖夫



公開講座

9:30～16:00 <多目的ラウンジ>

ヘルスチェック・健康相談・おくすり相談

担当：健康管理センター、中央臨床検査部、薬学部、薬剤部

血管年齢測定（限定170名）、骨密度測定（限定170名）、肺年齢測定（限定120名）、体組成（限定100名）・血圧測定、保健師・薬剤師による相談コーナー



ヘルスチェック

9:30～16:00 <多目的ラウンジ>

口腔内環境をチェックしよう ～ 一歩先のオーラルケアを～

担当：歯学部

むし歯リスク、歯周病リスク、口腔清潔度に関する7項目を同時測定（限定80名）



健康相談

9:30～16:00 <多目的ラウンジ>

お口の中を見てみませんか！

担当：歯科衛生部

CCDカメラによる口内観察、パネル展示、歯ブラシ展示

①10:00～②11:30～③14:00～④15:30～ <スタディルーム>

やってみよう！認知症予防体操

担当：看護部

3種類の認知症予防体操教室のほか、視覚性記憶ゲームなども実施



CCDカメラによる口内観察

①10:00～②11:00～③13:00～④14:00～ <西2A実習室>

手洗いの大切さを学ぼう

担当：医療安全管理部

蛍光塗料、ブラックライトを用いた洗い残しのチェック

9:30～16:00 <東SGL教室>

保育指導

担当：看護部

児心音の聴取、沐浴指導もあります



保育指導

知っ得、なっ得、乳がんの“いろは”

担当：腫瘍センター

- 講演会 ①11:00～11:50 ②14:00～14:50

<ゼミナール室>

司会 腫瘍センター長・腫瘍内科学科 教授 伊藤薫樹

講師 外科学講座 助教 小松英明

- 乳がん啓発クイズ、オリジナルグッズの展示・頒布 10:30～15:00

<キャンパスモール>

①10:30～②14:00～③15:00～ <ドクターヘリ基地>

ドクターヘリ基地見学

担当：救急センター

県民の生命と健康を守る希望の翼、ドクターヘリ・基地内の見学（各定員50名）
各開始時間にキャンパスロータリーからシャトルバスを運行
ヘリ出動の際は、基地内の見学のみとなります



ドクターヘリ見学

13:00～14:30 <東1A講義室>

認知症のことをよく知ろう ～認知症サポーター養成講座～

担当：薬学部、NPO法人

講師：認知症の人と家族の会 蛇石陽

あなたも認知症サポーターになりませんか？

認知症の基礎知識やサポーターとして何ができるかなどについて学びます

いきいきコーナー

9:30～16:00 <キャンパスモール>

あなたもできる!!「救命救急とAED講習会」

担当：看護部

一般市民を対象とした心肺蘇生講習会



心肺蘇生講習会

<キャンパスモール>

地産地消で美味しく減塩

担当：栄養部

11:00～14:00 減塩料理の試食

減塩調理のデモンストレーション ①11:00～②13:00～

9:30～16:00 清汁試食、減塩ミニクイズ、栄養相談、
外食モデルと調味料の塩分量展示



減塩料理の試食

9:30～16:00 <キャンパスモール>

歯科材料のいろいろ

担当：歯科技工部

歯科用ワックスを利用した模型の制作体験&プレゼント

9:30～16:00

図書館の一般開放

ホワイトボードおえかきコーナー、貴重書等の展示、オリジナルグッズの配布

10:00～11:00 <食堂棟1階ラーニングcommons>

図書館イベント Library + 「どんなお仕事?～医療ソーシャルワーカー～」

講師：医療福祉相談室 室長 青木慎也

定員 15名・要申込

11:00～14:00

オリジナルワンコイン学食

健康フェス限定のオリジナルヘルシーメニューの販売

14:40～16:00 <体育館3階柔剣道場>

ヨガ体験

講師：神経科学講座 教授 駒野宏人

※要予約。動きやすい服装をご準備下さい(更衣室あり)



ヨガ体験

わくわくコーナー

10:30～16:00 <キャンパスモール>

松ぼっくりアイス販売

担当：学友会

栗石の手づくりアイスクリーム牧舎「松ぼっくり」のゼラート出張販売!

※数量に限りがありますので、無くなり次第終了といたします

9:30～16:00 <キャンパス入口前ロータリー>

産直コーナー

矢巾町の農産物や六次産業品の販売コーナー

①10:00～、②10:30～、③11:00～、④13:00～、⑤13:30～、⑥14:00～

薬用植物園案内

担当：薬学部、学友会

東洋医学研究会の学生が薬用植物園をご案内

①10:00～、②10:30～、③11:00～、④11:30～、

⑤13:00～、⑥13:30～、⑦14:00～、⑧14:30～、⑨15:00～、⑩15:30～

各セッション30名程度 <西2B・C実習室>

「くすり」をお茶で飲むのは大丈夫?

担当：薬学部

「くすり」を服用する際に、何で飲むと良いのか簡単な実験を実施します

12:00～ <本部棟北側特設会場>

もちまき大会



産直コーナー



薬用植物園案内

元気コーナー

① 10:00～② 13:00～ <体育館(体育実習室)>

あなたの体力水準を調べてみませんか？

担当：教養教育センター

体力測定（棒反応、光反応時間、輪投げ）



体力測定

① 10:00～② 14:00～ <体育館(アリーナ)>

太極拳・カンフー ～体験！体幹！太極拳！～

講演会「健康・体幹・太極拳」

岩手県武術太極拳連盟会長・岩手大学保健管理センター長 立身政信

太極拳・カンフーの演武披露および体験

※動きやすい服装、屋内シューズ、タオルをご準備下さい



太極拳

9:30～16:00 <キャンパスモール>

あなたの目のこと、考えてみませんか？

担当：学友会

衛生検査部による目に関するポスター展示、視野のスクリーニング検査、チノマステスト

① 10:00～② 11:00～③ 13:30～④ 14:30～ <東2A・B講義室>

のぞいてみよう ～放射線科のしごと～

担当：中央放射線部

放射線科ってどんなところ？医療現場の様子や働く人たちの姿を描きます(DVD上映)

① 10:30～② 11:30～③ 14:00～④ 15:00～ <東2A・B講義室>

探検!! 身近な放射線を測ってみよう

担当：中央放射線部

放射線測定（一般の土、肥料等の放射線量の測定）



9:30～16:00 <キャンパスモール>

体の中をのぞいてみよう！

担当：中央放射線部

パネル展示、PC等を用いた3D画像データ展示

ステージイベント（大堀記念講堂）

10:00～

パフォーマンスショー

11:00～

健康〇×クイズ2016

※一般の方を対象としておりますので、医療従事者の参加はご遠慮願います



13:00～

あんべ光俊 スペシャルライブ



あんべ光俊

釜石市出身のシンガーソングライター
代表曲に「遠野物語」「星の旅」「イーハトーヴの風」などがあり、坂本九、オフコース等へ楽曲提供もしている。

14:00～

さんさ踊り



その他、スタンプラリーや進学相談、キッズスペース、歴史展示などもあります。皆様のご来場をお待ちしています。

●お問合せ／創立120周年記念事業事務局 電話 019-651-5111（内線 7022）メール anniv@j.iwate-med.ac.jp

解剖体慰霊祭が行われました

6月25日（土）矢巾キャンパス大堀記念講堂において、第79回解剖体慰霊祭が厳かに執り行われ、祖父江学長をはじめとする本学教職員・学生とご遺族が参列しました。

慰霊祭は78霊のご尊名奉読に続いて、祖父江学長による祭詞、学生を代表して歯学部3年の両川鈴奈さんから慰霊のことばが捧げられました（写真）。続いて参列者全員で医学・歯学のために貢献された方々に対して感謝するとともに霊の安らかならんことを祈り、献花いたしました。

慰霊祭終了後は、生前よりご自分の意思で献体登録され成願された故人への文部科学大臣感謝状伝達式が行われ、ご遺族に感謝状とご遺骨が返還されました。



「七夕さんさ会」が行われました

7月1日（金）、花巻温泉病院で「七夕さんさ会」が行われました。この会は、患者さんの一日も早い回復の祈念と盛岡さんさに向けた練習成果の披露を兼ねて、例年7月の七夕会に合わせて開催されています。

当日は、職員が「七夕くずし」「栄夜差踊り」「新花巻温泉音頭」を披露すると、踊りに合わせた患者さんの手拍子が会場内に鳴り響き、お祭りさながらの活気あふれる催しとなりました。



リーママ トーキングカフェが 開催されました

7月11日（月）、木の花会館3階会議室において、看護部リーママ応援プロジェクトの一環として、「リーママ トーキングカフェ」が初めて開催され、育児休業中の看護師17名が参加しました。

この催しは、「仕事と子育てを両立できるか」「夜勤のときはどうすればいいか」「保育園はどうすればいいか」など、育児休業を終え職場に復帰する際に抱える様々な不安を軽減し、ワークライフバランスの充実につなげることを目的として行われました。



当日は、看護部から夜勤免除や短時間勤務制度などの情報提供のほか、先輩リーママからの経験談の紹介が行われ、参加したリーママは真剣に耳を傾け、普段の生活の流れや効率良く家事と育児をする上での工夫すべき点、保育園の手続きなどについて質問の聲が上がりました。

また、同伴した子どもたちも一緒に安心して過ごせるよう、手づくりのお菓子が用意されたほか、アニメが上映されるなど和やかな雰囲気の中、同じ境遇で悩みを抱えるリーママ同士で交流を深め、楽しく有意義なひとときを過ごしました。

*リーママ：育児をしながら看護師として勤務する女性



感染対策講習会が行われました

院内感染対策講習会が、7月13日(水)から12回(録画映像による開催含む)にわたって歯学部4階講堂で行われ、総勢約2,000名の職員が参加しました。

講習会では、公益社団法人日本看護協会 常任理事の洪愛子先生(写真)を講師に迎えて「感染制御関連施策の動向 国内外のトピックス」と題した講演が行われました。参加者は、感染拡大を最小限に抑えるための医療関連感染サーベイランスの意義や国内外の感染症の事例について理解を深めました。



マツモトキヨシ様による東日本大震災津波復興支援奨学金授与式が行われました

7月23日(土)、矢巾キャンパス東研究棟1階会議室において、(株)マツモトキヨシホールディングス様による本学薬学部学生への東日本大震災津波復興支援奨学金の授与式が行われました。

授与式では、(株)マツモトキヨシホールディングス執行役員人事部長の小部真吾様より、薬学部5年小野美咲さん他3名の学生に奨学金が授与された後、奨学生としての決意表明が述べられました。



左より、名取泰博薬学部長、小野美咲さん、川田理緒さん、茂庭光さん、佐々木亮太さん、小部真吾様

オープンキャンパス2016が行われました

7月30日(土)・31日(日)の両日、矢巾キャンパスでオープンキャンパス2016が開催され、岩手県内をはじめ全国各地から高校生とその保護者など約1,000名が参加しました。



当日は、祖父江学長による大学紹介(写真上)や入学を希望する学部に分かれてのミニ講義や体験実習のほか、在学生とのフリートーク、教員による個別相談、ドクターヘリ基地の見学、学食の無料体験など盛りだくさんの企画が用意され好評を博しました。

参加した高校生らは、大学生活に夢や希望を膨らませていた様子で、将来の進路を決めるための有意義な機会となったようです。



在学生とのフリートーク



学食無料体験

名誉学長称号授与式を挙行了しました

8月1日（月）、創立60周年記念館10階理事長室にて名誉学長の称号授与式が挙行され、平成20年から本年3月末まで2期8年の学長任期を満了した本法人理事長の小川彰氏に、名誉学長の称号が授与されました。名誉学長の称号は、本学の学長として特に顕著な功績のあった者に授与されるもので、祖父江学長の推薦により理事会（7月25日開催）の承認を経てこの度の授与となりました。

なお、名誉学長の称号授与は、大堀勉第7代学長、小野繁第8代学長、佐藤俊一第9代学長について4人目になります。



岩手医科大学募金状況報告

【創立120周年記念事業募金】

平成26年6月から始まりました岩手医科大学創立120周年記念事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回は第11回目の御芳名紹介です。（平成28年5月1日～平成28年6月30日）

※御芳名及び寄付金額は、広報を希望されない方は掲載しておりません。

●法人・団体等（2件）

<30,000,000> 株式会社 こずかたサービス（岩手県盛岡市）

<御芳名のみ掲載> 医療法人社団 一陽会 神林耳鼻咽喉科医院（宮城県仙台市）

（順不同、敬称略）

●個人（5件）

<500,000>

金子 靖典（医48）

<御芳名のみ掲載>

漆久保 潔（医26）

岡田 嘉右衛門（医32）

小山 照夫（医19）

日下 純男（医14）

（順不同、敬称略）

| 区 分 | 申込件数 | 寄付金額（円） |
|---------|------|-------------|
| 圭陵会 | 301 | 279,280,000 |
| 在学生ご父母 | 206 | 153,645,000 |
| 役員・名誉教授 | 35 | 41,660,000 |
| 教職員 | 74 | 13,707,000 |
| 一般 | 26 | 21,080,000 |
| 法人・団体 | 93 | 383,925,000 |
| 合計 | 735 | 893,297,000 |

（平成28年6月30日現在）

理事会報告（6月定例－6月27日開催）

1. 教員の人事について

医学部形成外科学講座 講座内教授

櫻庭 実（現 国立がん研究センター東病院形成外科 科長）

（発令年月日 平成28年9月1日）

2. 看護学部設置認可補正申請について

大学設置・学校法人審議会大学設置分科会からの審査意見及び教員審査に対する補正申請書類を文部科学省へ提出することについて承認

新任教授の紹介

平成28年4月1日就任

神経精神科学講座

大塚 耕太郎 (おつか こうたろう)

昭和45年2月20日生
宮城県仙台市出身



研究テーマ

- ・精神科救急 ・自殺対策 ・臨床精神医学 ・災害精神医学
- ・精神科症候学 など

主な著書論文

- ・自殺念慮の出現期間による自殺企図者の特性について (Annals of General Psychiatry. 2015;30(12):14-48)
- ・自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネージメントの効果：多施設共同による無作為化比較研究について (ACTION-J) (The Lancet Psychiatry, Volume 1, Issue 3, Pages 193-201, 2014)
- ・複合的地域自殺対策プログラムの自殺企図予防効果について (NOCOMIT-J) (PLOS ONE : 8(10),2013)

趣味・特技

精神保健関係ボランティアの方々への教育活動での交流、紙芝居を通じた健康教育

教職員への自己PR

本学神経精神科学講座で診療、研究、教育の研鑽を積ませていただきました。精神疾患は未解明な領域が多く、医療や研究領域は広大です。精神医療ではチーム医療や各科との連携に力を入れながら、少子高齢化という時代の中で、困難を抱えるさまざまな患者様へ医療を届けていくことができればと思います。教室員と力を合わせて大学の関係各位の皆様のお役に立てるよう努力して参りたいと思います。母校の発展のため努力して参る存在ですので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いたします。

経歴

- 平成9年 本学医学部卒業、神経精神科学講座に入局
- 平成13年 同講座助手
- 平成17年 同講座講師
- 平成24年 本学災害・地域精神医学講座特命教授
岩手県こころのケアセンター副センター長
- 平成28年 現職

平成28年4月1日就任

医歯薬総合研究所 看護・政策研究部門

末安 民生 (すえやす たみお)

昭和29年4月2日生
鹿児島県西之表市出身



研究テーマ

- ・精神看護学 ・精神科地域ケア ・精神科リハビリテーション

主な著書論文

- ・精神障害者を対象とした相談支援事業等におけるアウトリーチ支援に関する実態調査と分析、(事業概要P6-8、総括P12を担当、平成23年度障害者総合福祉推進事業、2012年3月)
- ・精神科急性期医療の最適化に関する研究 (P179-182、隔離・身体拘束施行に関連する看護師のケア内容分析と考察を担当)、平成20～22年度精神神経疾患研究開発費、「地域中心の精神保健医療福祉」を推進するための精神科救急及び急性期医療のあり方に関する研究分担任 (総括研究報告書)
- ・精神障害者の退院と地域生活定着に向けた医療福祉包括型ケアマネジメントのあり方の検討 (平成19年度厚生労働省障害者自立支援調査研究プロジェクト報告書)

趣味

散歩と読書(推理小説)

教職員への自己PR

本学の開学120周年のこのときに看護学部の創設に参加する機会を得られて大変に光栄に思っています。看護学部の評価は一期生が卒業してから定まるものではなく、既に設置準備の段階から始まっています。オープンキャンパスなどにおいても本学への期待の高さ、高い実践能力を身につけたいという受験生の気持ちが伝わってきました。私も準備を担当する教職員は、そのような学生の希望に応えるべく、きめ細かく行き届いた指導体制を整えるとともに実習環境や学生サポート体制をしっかりと準備して受験生にもできるだけ正確に伝えられるようにと心を配っています。これから開学に向けてより力を尽くしますので、教職員の皆様のお力添えも引き続きいただけますようお願い申し上げます。

経歴

- 昭和53年 東京都立松沢看護専門学校卒業、東京都衛生局 東京都立松沢病院 看護師
- 平成2年 衆議院特別国家公務員 第一秘書
- 平成4年 川崎市衛生局 川崎市立看護短期大学 準備室、医療法人翠会 成増厚生病院 地域精神保健推進部 兼 医療法人慈友会 池袋慈友クリニック 相談部部長
- 平成6年 衆議院特別国家公務員 政策秘書
- 平成7年 東海大学健康科学部看護学科 講師
- 平成11年 東海大学健康科学部看護学科 助教授
- 平成13年 同 慶應義塾大学看護医療学部看護学科 准教授
- 平成16年 同 健康マネジメント研究科看護学専修士課程 准教授
- 平成16年 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所医療福祉経営専攻修士課程修了
- 平成23年 天理医療大学 設立準備室
- 平成24年 同 医療学部看護学科 教授
- 平成27年 岩手医科大学看護学部設置準備室 (兼任)
- 平成28年 現職

平成28年7月1日就任

医歯薬総合研究所 看護・政策研究部門

嶋森 好子 (しまもり よしこ)

昭和22年1月15日生
長崎県生まれ、高知県出身



研究テーマ

看護マネジメント、医療安全、糖尿病教育・看護

主な著書論文

- ・医療安全推進のために、いずれの医療機関においてもすべき医療安全行動についての検討、平成26年度厚生労働科学研究費補助金「地域医療基盤開発推進研究事業」、「業務フロー図に基づく医療の質向上と安全確保を目指した多職種協働チームの構築と研修教材・プログラム開発に関する研究」の分担研究報告 (総括研究報告書P35-104、2015年3月)
- ・安全確保のために医療提供体制を再考する - 医療安全確保のために看護管理者に求められていること - (日本看護管理学会誌17巻1号P6-16、2013年6月)
- ・マインド・スキル・ツールメソッドの成果:組織にどのような変化をもたらしたか~これからの時代に求められる看護管理のスキルの獲得~ (看護管理23巻8号P630-635、2013年8月(医学書院))

趣味

散歩とスナップ写真を撮ること

教職員への自己PR

ご縁がありまして平成27年6月に看護学部設置準備室長を拝命し、これまで看護学部の設置に向けて様々な準備を進めて参りました。看護学部の設置認可申請にあたり、教職員の皆さまには、多大なるご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。いよいよ来年4月には看護学部1期生が入学します。実践力を持った優れた看護専門職者を養成し、岩手県のみならず東北地域全体の総合医療の推進を図るとともに、現役看護者の資質向上にも寄与していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願申し上げます。

経歴

- 昭和43年 川崎市立高等看護学院卒業
- 川崎市立川崎病院 看護師
- 昭和46年 神奈川県立看護専門学校 公衆衛生看護学科卒業
- 昭和47年 川崎市立高等看護学院 専任教員
- 昭和50年 一般社団法人 日本看護協会教育部 研修担当
- 昭和53年 恩賜財団 東京都済生会中央病院 民生病棟 主任看護師・看護師長
- 昭和63年 東京女子医科大学附属看護専門学校 専任教員
- 平成2年 恩賜財団 東京都済生会向島病院 看護部長
- 平成11年 一般社団法人 日本看護協会 常任理事
- 平成14年 京都大学医学部附属病院 看護部長
- 平成19年 慶應義塾大学看護医療学部看護学科 教授
- 平成22年 公益社団法人 東京都看護協会 会長
- 平成27年 岩手医科大学看護学部設置準備室 室長 (兼任)
- 平成28年 7月~ 現職



情報薬科学講座 西谷直之 講師が 第20回日本がん分子標的治療学会学術集会において、 優秀ポスター賞を受賞しました

5月30日～6月1日に別府で開催された第20回日本がん分子標的治療学会学術集会で、優秀ポスター賞を受賞しました。本学会は、基礎と臨床の融合、産学連携を加速させるための情報交換の場を提供しています。

分子標的治療薬では、古典的な抗がん剤のような正常細胞への重篤な副作用が抑えられています。しかし、その特異的な作用機序の延長線上にあるon-targetな副作用が、近年、臨床現場では問題となっています。副作用の程度によっては、治療薬の減量や休薬を余儀なくされ、満足な治療効果が期待できないことすらあります。我々は、非小細胞肺癌治療薬であるEGFR-TKIによる皮膚症状をモデルとし、有害反応緩和のための方法を分子レベルで考案しました。アカデミアだけでなく製薬企業からの参加者にも高く評価されました。本発表は、薬学部6学年 大森愛夏さん、細田あゆみさん、5学年 鈴木琴美さんの卒業研究の内容を含む発表でした。また、着想に至る医療現場での問題点については、臨床薬剤学講座 佐藤淳也先生にご教示頂きました。ご助言、ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

(文責 西谷直之)



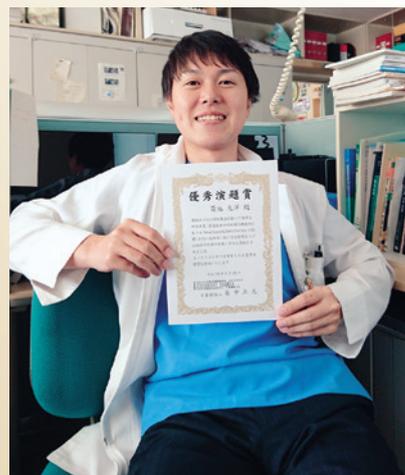
放射線医学講座 菊池光洋 助教が第134回日本医学放射線学会北日本地方会において、 優秀演題賞を受賞しました

6月18日に開催された第134回日本医学放射線学会北日本地方会(於:札幌市)において『食道癌根治放射線治療症例におけるNeoadjuvant Chemotherapyの影響』の演題で研究発表を行い、優秀演題賞を頂くことができました。

本邦では切除可能Stage II-III食道癌に対して術前化学療法+根治手術が標準治療となり、導入化学療法(Neoadjuvant Chemotherapy : NAC)施行後に放射線治療を行う症例も見られるようになりました。食道癌放射線治療におけるNAC追加の影響を調査する目的でこの研究を開始しました。研究発表ではNACの1次効果とその後の放射線治療の成績や有害事象に関して報告し、会場から興味深い内容であったとお褒めの言葉を頂きました。

今回の研究は、今後の食道癌放射線治療において新たな治療戦略の糸口となる可能性があり、継続して調査研究を行いたいと考えています。最後にご指導頂いた放射線腫瘍学科有賀教授、外科学講座岩谷講師・食道班の先生方に感謝申し上げます。

(文責 菊池光洋)



看護部西4階 石森由樹 主任看護師が 第34回肝臓移植研究会において、優秀演題賞を受賞しました

7月7日、8日に旭川で開催された第34回肝移植研究会において優秀演題賞を受賞いたしました。演題は「外来通院により治療を受けている肝臓移植患者が災害時に治療を継続するためのシステムの検討」です。東日本大震災の経験から、当院が肝臓移植施設として、災害時でも肝臓移植患者が外来通院治療を継続して受けられるための対策について実態調査を行いました。その結果、震災を経験していても具体的対策の整備はされていない現状が明らかとなりました。

肝臓移植患者が災害時に治療を継続するためには、平常時から災害時の対応と緊急時の連絡方法を明確にするとともに、患者自身がセルフケア能力を備えておく必要があります。今後は、レシピエント移植コーディネーターとして多職種連携を図り、災害対策への取り組みを推進していきたいと思っております。受賞にあたり、多くの先生方やスタッフの皆様へ感謝申し上げます。

(文責 石森由樹)



歯学部5年 永井大輝さんと佐藤栄美さんが 第35回日本歯科医学教育学会学術大会において、学生優秀ポスター賞を受賞しました

この度、第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会（7月1日～2日；大阪府吹田市）におきまして、歯学部5年生 永井大輝さんと佐藤栄美さんが学生優秀ポスター賞を受賞しました。

本学歯学部生は、平成24年度から昭和大学、北海道医療大学と連携して大学間連携共同教育推進事業「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」に参加しております。超高齢社会を迎えた現在、基礎疾患を有する患者が増加しており、その中で歯科医師には、歯科治療を安全に行うための高い知識と技術の習得が求められるなか、連携3大学が開発したIT教材を用いた共通の教育手法を3年～4年次のカリキュラムを通して学修しております。

本学会では、連携3大学の同じ教育カリキュラムを受けた学生によるSkypeを用いて行った交流会において、学生の観点からの高齢者歯科治療に対応する教育の課題等を討論した内容を報告しました。この事業を通して、学生は他大学の学生が高齢者歯科に対して持つ歯科医師像、また共通カリキュラム以外に各大学で工夫されている実習などを知ることが出来て大変有意義な機会となったと思われます。また、今回の発表は、同じカリキュラムを受けてきた6年生が5年生を指導し、協力し合って発表ポスターを作製しました。これは、岩手医大歯学部が進めてきた屋根瓦方式の教育システムとしての「教学半」が形となって表れた学会となり感慨深い学会でした。

（文責 補綴・インプラント学講座 小林琢也）



構造生物薬学講座 阪本泰光助教が 国際宇宙ステーション (ISS) アワードを受賞しました

7月11日～14日に行われたISSの国際会議 (ISS R&D Conference) にて、様々な分野の研究が米国中心にISSで行われている中で、日本人として2014年以来、二人目となるISS Awardを米国航空宇宙局 (NASA)、米国科学推進センター (CASIS)、米国宇宙飛行学会 (AAS) より受賞しました。授賞式では、NASA宇宙飛行士のJosh Cassada氏より盾をいただき、テレビインタビューを受け、講演と貴重な体験をさせていただきました。今回の受賞は、タンパク質やペプチドを栄養源とする糖非発酵グラム陰性菌（ある種の多剤耐性菌や歯周病菌）の増殖や生育に重要かつ特有な酵素 (S46ファミリーDPP) であるDAP BII、歯周病菌DPP11の構造生物学的研究と新規抗菌薬開発への取り組みが、世界的な問題である多剤耐性菌による抗菌薬の枯渇に対する解決策の一つとして期待されていることによります。



S46ファミリー DPPは、DAP BIIとして岩手県出身の小笠原渉・長岡技術科学大学教授が世界で最初に発見しました。その後、このファミリーのDPPでは、歯周病菌DPP7 (DAP BIIの類縁酵素) が2001年に米国およびポーランドの研究グループにより発見され、歯周病菌DPP11が2012年に岩手医大の木村重信教授らのグループにより発見されました。本学の木村先生のグループによる微生物学、生物学的研究がなければS46ファミリー DPPの重要性は、世界中に認識されなかったわけで、我々の研究意義の強い裏付けとなったことに深く感謝しています。このように岩手と縁深い酵素の世界初の立体構造解析に我々が成功したことは大変感慨深いものであると同時に、様々な研究機関 (JAXA, 高エネルギー加速器研究機構、大阪大学蛋白質研究所、SPring-8、長岡技術科学大学、昭和大学) とのオールジャパン体制を構築することによって世界的な成果をあげられることを示したものです。

現在は、この体制がさらに広がりつつあり、阻害剤の設計等を共同研究者の協力により進めています。最後になりましたが、この受賞は、JAXA、長岡技術科学大学の小笠原渉先生、鈴木義之先生、昭和大学の田中信忠先生、大学院生の六本木沙織さん、飯塚一平さん、卒業生の館岡千佳さん、森澤さおりさん、藤本真友さんをはじめとする多くの学生をはじめとして、ここに書ききれないほどの多くの共同研究者の方々の力によるものです。この場をお借りいたしまして深く感謝いたしますとともに、我々の取り組みに対する本学の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

（文責 阪本泰光）

シリーズ 職場めぐり

看護部 (NICU)

当NICUは、岩手県の中核周産期医療施設に指定され、出生体重1,000g未満の超未熟児や先天性心疾患、消化管疾患など県内外から多くのハイリスク新生児を受け入れています。スタッフは、看護師、助産師、看護補助者、医療クラーク、臨床心理士の計76名で当院では一番の大所帯です。看護スタッフはハイリスク新生児の集中ケアを行うだけでなく、治療に伴う苦痛や不快感、ストレスを最小限に抑え胎内にできるだけ近い環境に整えながら、患児の成長・発達を促進するためのケア（ディベロップメンタルケア：DC）と患児・家族の思いに寄り添い、医療者との相互の信頼関係のもとで家族中心のケア（ファミリーセントードケア：FCC）の理念に基づいた看護を提供しております。小さな命を守り、育て無事に退院の日を迎えられるよう

安全・安心そして、最良のケアを提供できるスタッフの育成にも日々、努力を続けております。

(主任看護師 佐々木由希子)



岩手県こころのケアセンター (宮古地域センター)

私たちの活動は、東日本大震災によりつらい経験をされた方々を対象に、沿岸の地域住民への相談支援や普及啓発活動・人材育成等の支援を行っています。スタッフは、平成28年7月現在、7名（看護師1、保健師1、精神保健・社会福祉士1名、社会福祉士1名、臨床心理士1名、事務2名）で、保健所、市町村を中心とした保健事業を協働という形で展開しており、他の関係機関とも連携・協力をさせていただいております。発足から4年が経過し、地域の復興に伴い地域や被災された方々のニーズなども変わってきています。新しい街、地区等でのコミュニティの状況に合わせて、何をどのように対応していけば良いのか、日々の支援での努力が必要です。今後市町村・関係機関・団体との連携をより密にして、お互いの地域の役割を生かし

ながら、こころのケアの体制を継続していくことで、地域力が蓄積されていけるようスタッフ一同取り組んでいきたいと思っております。

(主任 橋場俊夫)



東京都人会のご紹介

6月22日（水）、ホテル東日本で東京都人会が開催されました。東京都出身、あるいは東京にゆかりのある学生と教員が懇談する会で、毎年開催されています。親元を離れて生活し、勉学に励む学生のメンタル面のサポートを目的として発足した会です。今年度は医学部・歯学部から学生26名と教員4名の参加がありました。多い年には60名程の参加があるそうです。

肩肘張らない雰囲気の中で、学部、学年の垣根を越えて、学生同士、学生と教員のつながりが育まれ、様々な情報交換や先輩から後輩へのアドバイス、地元の思い出話など、とても有意義で楽しい会となりました。

東京都人会に興味のある方は、お近くの都人会員または編集委員の成田（病態生理学分野）までお気軽にお声をおかけください。

(編集委員 成田欣弥)



編集委員コーナー No.9 ～ 編集委員のつぶやき・夏 ～

今年7月に八幡平のトレッキングにチャレンジしました。今回もまた、雨やガスで景色はほとんど楽しむことができなかつたのですが、雨がやみ、突然視界が開けたときに広がった白い硫黄の池？沼？（資料によると昭和26年に噴火し、対岸のあちこちから硫黄を含んだ蒸気を噴出していると載っている）に驚き、感動することができて良かった。他にも黙々と歩く中、向かい側の山の稜線を見ると黒いのが横に動いている……。「クマだ！」背中的一部分しか確認できなかつたけどやがて山の向こうに消えて行った。「ホントにいるんだねー。」と、遠くからだったけどこの体験も少し嬉しかった。



もし、クマが向かって来たらどうする。の問いかけに私は全身で体当たりをすると返答。すると一人は、じゃあ私は片腕を抑える。もう一人は私と一緒に体当たりをしてくれるそう。もう一人は残りの片腕を抑える。とそれぞれの役割は決まった。もちろん私達以外の他の誰かが襲われているというシチュエーションが前提だけれども・・・。

今回もこんな話ができる気が置けない仲間と同じ時間を過ごし、いろいろな体験ができたことにとても感謝。手配や、同行していただいた皆さんにも感謝です。ステキな時間をありがとうございます。

最後に、お土産をみていると温泉で茹でた黒玉子をお店の人に勧められた。特に興味がなかったが、1個食べると3年長生きすると聞いて即購入。帰りまでに私たち4人は6年以上長生きすることになりました（茹でたては特に美味しい）。

（編集委員 武藤千恵子）

《岩手医科大学報編集委員》

| | |
|-------|--------|
| 小川 彰 | 米澤 裕司 |
| 影山 雄太 | 山尾 寿子 |
| 松政 正俊 | 菊池 初子 |
| 齋野 朝幸 | 佐々木さき子 |
| 成田 欣弥 | 佐々木忠司 |
| 佐藤 仁 | 熊谷 佑子 |
| 藤本 康之 | 畠山 正充 |
| 白石 博久 | 菅原 侑子 |
| 藤澤 美穂 | 武藤千恵子 |
| | 高橋 慶 |

編集後記

岩手の短い夏も過ぎようとしています。少々寂しい気もしますが、振り返ると賑やかな出来事が色々と思い出されます。

本誌を眺めると、さんさ踊り、様々なイベントや学会での活動・活躍、野球大会での本学職員野球部の優勝、オープンキャンパス等々。また、外に目を向けると、今年も熱闘が繰り広げられた甲子園や、日本のメダル獲得数が過去最多となったリオ五輪と、やはり夏は躍動の季節です。

読者の皆様におかれましては、本誌をご覧になりながら夏の疲れを癒していただき、夏を振り返りつつ、健康フェスから始まる今年度後半の計画を立てていただければ幸いです。

（編集委員 松政正俊）

岩手医科大学報 第479号

発行年月日 平成28年8月31日

発行 学校法人岩手医科大学

編集委員長 小川 彰

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画調整課

盛岡市内丸19-1

TEL. 019-651-5111 (内線7023)

FAX. 019-624-1231

E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp

スポット医学講座

神経精神科学講座 助教 三條 克巳



「ストレス」と「うつ」について

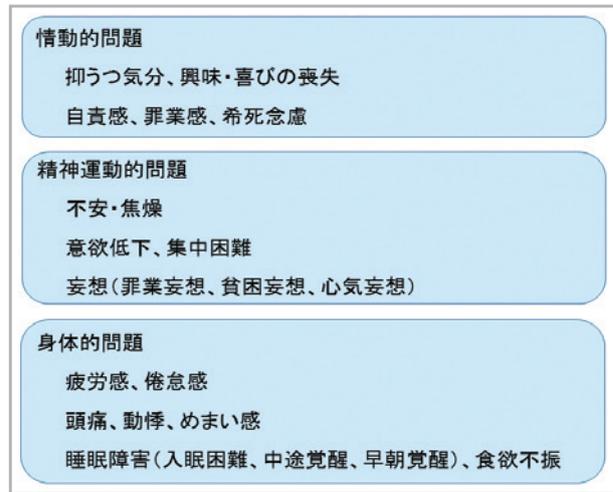
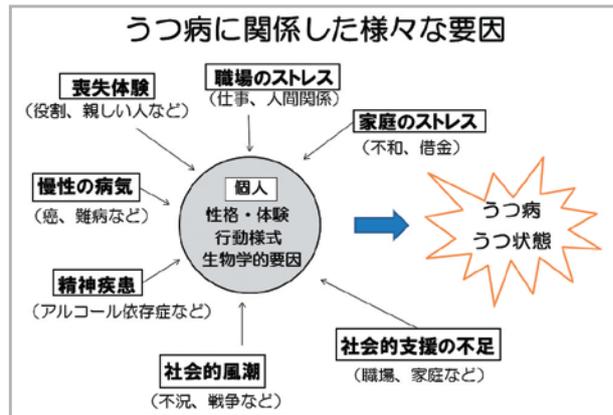
現代社会においては様々な出来事からストレスが生じます。昇進や結婚など、一見望ましいような出来事でさえ、人間はストレスを感じると考えられています。私たちが、それらストレスと接しながら日常を過ごしていること自体は通常であり、ストレスがあることですぐにこころの問題が生じるわけではありません。

しかし、非常に多くの、強いストレスに接した場合には、その反応として身体の不調や不眠、抑うつなどが出現することがあります。うつ状態になると、気持ちが沈んだり、今まで楽しめたことが楽しめなくなっていたり、いつもより疲れを感じたり、眠れない、自分は価値のない人間だと感じたり、死について考えるようになることがあります。こうした状況が長く続くと生活自体が困難となる場合があります(図1)。

うつ病の症状には、憂うつ感や喜びの喪失といった情動的問題、意欲低下や不安といった精神運動的問題、疲労感や不眠といった身体的問題があります。特にうつ病においては「抑うつ気分」、「興味・喜びの喪失」が主要な症状です。これらの症状がほとんど1日中、ほとんど毎日のように2週間以上存在し、日常・社会生活に支障を引き起こしている場合にはうつ病を疑う必要があります(図2)。

心理的な問題を抱えた相手と接するときの早期の対応法として、Mental Health First Aidがあります。まず第1に自傷・他害のリスクを評価し(Step 1)、しっかりと話を聞くことが重要です(Step 2)。そして、今起きている状態が医学的に効果的な治療や対応が可能であることを説明し(Step 3)、専門家に相談することも有効であることを伝え(Step 4)、気持ちを和らげるような自分でできる対処法の実践を奨励することも関わり方として推奨されています(Step 5)(図3)。

生活の中で生じる問題は様々であり、表出される症状も多彩です。問題解決の糸口を見つけるためには、その状態に合わせて個別に対応を工夫することが重要です。



Mental Health First Aid

(Kitchener BA, et al. Mental Health First Aid Manual.2002)

- 1 声をかけ、リスクを評価し支援を始めましょう
(リ:声かけ、リスク評価、支援開始)
- 2 決めつけず、批判せずに話を聞きましょう
(は:はなしをよく聞く)
- 3 安心につながる支援と情報を提供しましょう
(あ:あしんににつながる支援と情報)
- 4 専門家のサポートを受けるよう勧めましょう
(さ:専門家のサポート)
- 5 その他のヘルプやセルフヘルプなどのサポートを勧めましょう
(る:セルフヘルプなどのサポート)

(メンタルヘルス・ファーストエイド・ジャパン訳)

図3